

令和4年度 施設管理運営事業評価票

1 評価対象施設

公の施設の名称	宝塚市公益施設(さらら仁川公益施設・ピピアめふ公益施設)				
所在地	宝塚市仁川北2丁目5番1号、宝塚市売布2丁目5番1号				
指定管理者	団体名	国際ライフパートナー株式会社	指定期間	開始日	平成31年4月1日
	所在地	神戸市中央区海岸通6番地		終了日	平成6年3月31日
選定方法	公募		評価実施年	指定期間5年のうち3年目	
施設設置目的	仁川駅及び売布神社駅前地区の活性化を図り、もってまちのにぎわいを創出するため、宝塚市公益施設を設置する。				
主な実施事業	(1)利用許可に関する業務 (2)利用料金の徴収に関する業務 (3)建物、設備、備品等の維持及び小規模な修繕に関する業務 (4)前各号に掲げるもののほか、市長が必要であると認める業務				

2 利用状況(目標と実績)

成果指標	単位	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
a 利用件数(さらら仁川)	件	5,000	3,757	5,000	2,936	5,000	4,433		
b 稼働率(さらら仁川)	%	38	32.1	40	29.7	45	37.7		
c 利用件数(ピピアめふ)	件	5,000	3,826	5,000	2,793	5,000	3,226		
d 稼働率(ピピアめふ)	%	30	28.7	35	25.7	40	28.7		
e									

3 指定管理業務にかかる収支状況

(単位:千円)

区分		令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算
収入計	A	96,494	91,348	91,835	0
指定管理料		54,396	57,775	53,883	
利用料収入	C	27,410	22,439	25,399	
自主事業収入		7,206	3,587	5,005	
その他		7,482	7,547	7,548	
支出計	B	102,628	103,624	102,442	0
指定事業費		91,926	98,734	97,438	
内、人件費	D	36,973	46,402	42,694	
内、再委託料	E	6,459	7,472	8,261	
自主事業費		10,702	4,890	5,004	
事業収支	A-B	(6,134)	(12,276)	(10,607)	0
利用料金比率	C/A	28.4 %	24.6 %	27.7 %	%
人件費率	D/B	36.0 %	44.8 %	41.7 %	%
再委託費比率	E/B	6.3 %	7.2 %	8.1 %	%

・「支出」欄「指定事業費」は、代表的な内訳を取り上げているため合計額とはならない。

・着色セルは、自動計算としている。

・事業費は、前年度以前の決算を記載する。

補足説明

・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和3年4月25日～5月11日までを臨時休館とし、令和3年4月22日～4月24日、5月12日～10月21日までは開館時間の短縮を行った。
 ・貸館定員及びイベント収容人数を定員の半数に縮小して運営した。
 ・令和3年度指定管理料のうち、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う臨時休館等による損失補填額883,082円を含む。
 ・ピピアめふ公益施設4階の空調工事により2カ月間、部屋の利用制限を行った。

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価	
①サービスの履行の確保	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。 必要な資格、経験を有する人員が確保されている。 事業計画に即し、計画的に研修等を実施している。	A A A	B B A
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており適切である。 外部委託業者に対して協定書等を遵守させている。	A A	A A
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	A	A
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令等を遵守している。 個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	A A	A A
	情報公開	情報公開に関する法令等に準じた運用を行っている。 協定書に従い、情報を適切に管理し、公表している。	A A	A A
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。 点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	A A	A A
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。 市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A S	A S
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練を行っている。 緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	A A A	A A A
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	S	S
	《 総括 》	「業務の実施体制」に関する評価 【標準18項目/本施設 項目】	A	A
②サービスの質の評価	施設管理	協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	A A	A A
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。 利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。 言葉使い、態度、服装等接遇が適切である。	A S S	A S S
	事業運営	事業計画に即し、受託事業を実施している。 施設の目的に添った自主事業を実施している。 事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	A A A	A A A
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。 仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。 備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。 協定書等に従い、適切に修繕を行っている。	A A A A	A A A A
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	A	A
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	S	S
	苦情等対応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。 要望、苦情等を整理し、遅滞なく市に報告している。	A A	A A
	利用者アンケート等	利用者アンケート調査等を実施し、その結果が妥当である。	A	A
	利用状況	利用者数、稼働率等は、目標に対し妥当な水準である。	B	B
	《 総括 》	「業務の内容・水準」に関する評価 【標準18項目/本施設 項目】	A	A
③安定性	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え適切に経理事務を行っている。	A	A
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	B
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	A	A
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	B
《 総括 》	「経費の収支等」に関する評価 【標準4項目/本施設 項目】	B	B	
指定管理者所見 (成果、課題、今後の改善点等)	令和3年度の後半からは新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着きを見せ始め、施設利用件数及び稼働率は両施設とも前年度よりも増加した。自主事業については、前年度よりも企画を増やして実施したことにより、全体の来館者数の増加に寄与した。その他に稼働率の低い部屋を有効活用する販促企画も実施し、稼働率の増加につなげた。今後の課題について、さらには仁川はイベント等を通して地域連携を促進し、施設のPR及び来館者数の増加につなげること、ピビアめふは貸館の多目的利用を促進し、稼働率の低い部屋の稼働率向上を目指す。			
施設所管課所見 (成果、課題、今後の改善点等)	安全に安心して施設利用できるように、指定管理者と連携して、新型コロナウイルスの感染拡大防止措置を適正に講じ、地域の各種団体と連携した活動や、多彩な集客事業を実施した。 前年より自主事業の実施回数を増やしたことにより、施設の周知及び来館者の増加につながった。仁川駅及び売布神社駅の駅前地区の活性化を図るため、施設利用者のニーズを把握した上で、稼働率向上のための新たな取組みに期待する。			
前年評価	A	総合評価	A	

※評価区分

評価基準:	S	= 協定書等の水準を大きく上回っており、優良である。
	A	= 協定書等の水準を満たしており、良好である。
	B	= 協定書等の水準を満たしているが、一部改善が望ましい。
	C	= 協定書等の水準を満たしておらず、改善が必要である。
《総括》:	S	= 評価基準が全てA以上であり、かつSが過半数である。
	A	= 評価基準のうちBが3割未満で、Cがない。
	B	= S、A、C以外
	C	= 評価基準にCが1つでも含まれる。
総合評価:	S	= 自己評価、所管評価の《総括》にB・Cが含まれず、かつSが過半数である。
	A	= 自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、Bが2つ以下である。
	B	= S、A、C以外
	C	= 自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。